## 平成30年度 委員会活動方針

	全市における災害など不測の事態発生時に神戸市と連携を図り、対応を行う。今後は異常気象
災害対策委員会 (災害対策委員会	による台風の大型化、ゲリラ豪雨、竜巻など局所的にも大きな被害も考えられるので今年度は
八百八水女兵五	神戸市とワーキングチームを設置し、緊急出動時のあり方、待機のあり方を中心に具体的内容を
	協議していく。
	・開園3年目となる里山公園の植物管理については、今年度は来園者数の増加を目指す中、引き続き
	里山景観の維持と向上を図ると共に、里山の四季を感じさる花修景を各所に整備を行う。
	・常に管理センター職員との情報を共有し、いろいろな課題に対し早期に問題解決を図る。
国営 あいな里山 公園委員会	・委員会・班長会を毎月1回以上開催し、園長、職員、各エリア班長と園の運営、植物管理に関しての
	方針、現状を常に確認し、情報の共有や連絡など相互でコミュニケーションを図る。
	・作業などの進捗、追加作業の分担などミーティングを充実させる。
	・植物管理課として季節に応じた草花を活用し飾花などを充実させる
	・神戸市内で唯一、まとまった規模の日本庭園である相楽園は、県内外はもとより近年は、
	外国人観光客の方々も多く来園されることから日本庭園としての質の向上を目指し、
	   相楽園のメイン樹木であるマツ・ツツジの手入れは、毎年、同じ職人で作業を行うことに
	   より高品質を維持することを心掛ける。
相楽園委員会	・ツツジ以外の花木を増やす取り組みを行い、年間を通じて花を楽しめる庭園を目指す。
	  ・庭のあかりの企画の充実を目指し、リピーターを増やすと共に、幅広い年齢層からの新規の来園者
	確保を目指す。
	  ・毎月委員会を開催し、庭園管理の維持及び来園者のサービス向上とニーズを検討し発展を
	   目指す。
	・離宮公園の長期的な園地管理を計画・実践し、来園者の満足度向上を目指した運営管理を
	   推進する。
	  ・毎月の定例会にてイベント等連絡事項を共有し、きめ細かい園地管理を行う。
離宮公園委員会	  ・専門エリア(菖蒲園、観賞温室、和庭園、梅園)に専門知識、造園技術を注ぎ各エリアの充実を
	   図る。
	  ・離宮公園の魅力アップ作戦として観賞温室特別展示、花の庭園飾花作業、東門料金所周辺の
	   老木撤去及び新植、菖蒲エリアのパレット苗木移行への環境整備、和庭園周辺のもみじ植栽(
	   苗木)を中長期で計画・実践し、魅力アップを目指す。
	・離宮公園の緑地改善として、子供の森展望台からの眺望確保のための、伐採、剪定、通路確保
	対策。 もみじ道、温室からもみじ滝、東門周辺のもみじ活性化対策。
	・園地管理を通して、会員の造園知識、技術の向上を目指す。
	・良好な園の運営管理に積極的に参画する。
	200 0H - CH H-TI-INIZ-01-2 H / W

	・日本庭園を本来の形に維持するための管理の充実。
しあわせの村 委員会	・日本庭園の管理手法の策定や工法の再確認を行い、会員の技術向上にフィードバック出来る
	ように取り組む。
	・日本庭園の魅力アップや集客力アップへの貢献
	・よりよい日本庭園になるよう企画、提案をしていく。
	・樹木や景観を利用したイベント等を考慮した庭園管理を行う。
OMこうべ委員会	・株式会社OMこうべが運営する商業施設及び管理地の緑地管理業務委託を行う。
	・造園的な見地から、ショッピングセンターにおける緑地管理の様々な提案を行い、長期的に
	緩やかに向上させ、集客アップに貢献する。
	・各施設ごとに細やかな対応を心掛け、イベントのための飾花や害虫対策など、季節に応じた
	提案でお客様をお迎えするのにふさわしい空間を創りあげる。
	・作業現場から災害・事故の撲滅をめざす。
安全対策委員会	・協力会会員の安全に対する意識の向上と共有するための活動を行う。
	・年2回(工事・管理作業)への安全パトロールを実施します。
	・会員各社への事故報告書の通達を行い、災害撲滅を目指す。
	・会員会社の社員の技術と知識の向上、技能の伝承という視点から社員向けの技術講習会に取り組む
	・神戸市内の公園樹木剪定、街路樹剪定の基本方針を定着させるために行政側と協議し
技術委員会	街路樹剪定講習会を開催する。過去の実施を踏まえ、内容充実を図る。
<b>汉州安貝云</b>	・市内の美しい景観創造の為に、樹木管理のプロとして先駆的役割を担ってゆくため神戸市公園部に
	対し、緑のパトロールを提案中であり、実施に向けて取り組む。
	※緑のパトロールとは行政と共に実施する、現場での剪定の技術的なアドバイスを目的としたパトロール
情報教育委員会	・ホームページによる当協力会の取組み(事業・委員会活動・業界情報等々)を毎月1回以上を目標に
	情報発信する事で、会員、関係団体、一般の市民の方にも向けて対外的な認知度を高める。
	・会員各社への有益な情報提供を目的に、定期総会・年末総会時の年2回、当協力会に関わる事案や
	業界を取り巻く動き、造園技術や神戸市と連携した取組みについての研修会を実施する。
	・各委員会との横の情報交換を密にし、上記のような懸案事項や事業の経過状況の情報を収集し、
	これらをホームページにアップすることにより、会員全体への参加意識の向上を図ると共に、
	新規会員獲得に向け、当協力会入会のメリットをアピールする。
L	

・総会・定例会の他、会員間の交流や意見交換の場を設け協力会の活動を共有できる様
企画立案、協力会内広報を実施する。

## ・神戸市の緑の将来や現状の課題、工事・管理作業における問題点等を神戸市(公園部) との定期的な意見交換会が継続できるよう調整を行う。

## 総務委員会

・神戸市造園協力会の地域貢献の一環として市内で行われるクリーンキャンペーン等の地域活動への参加を促進する。

※三役はすべての委員会に関わる